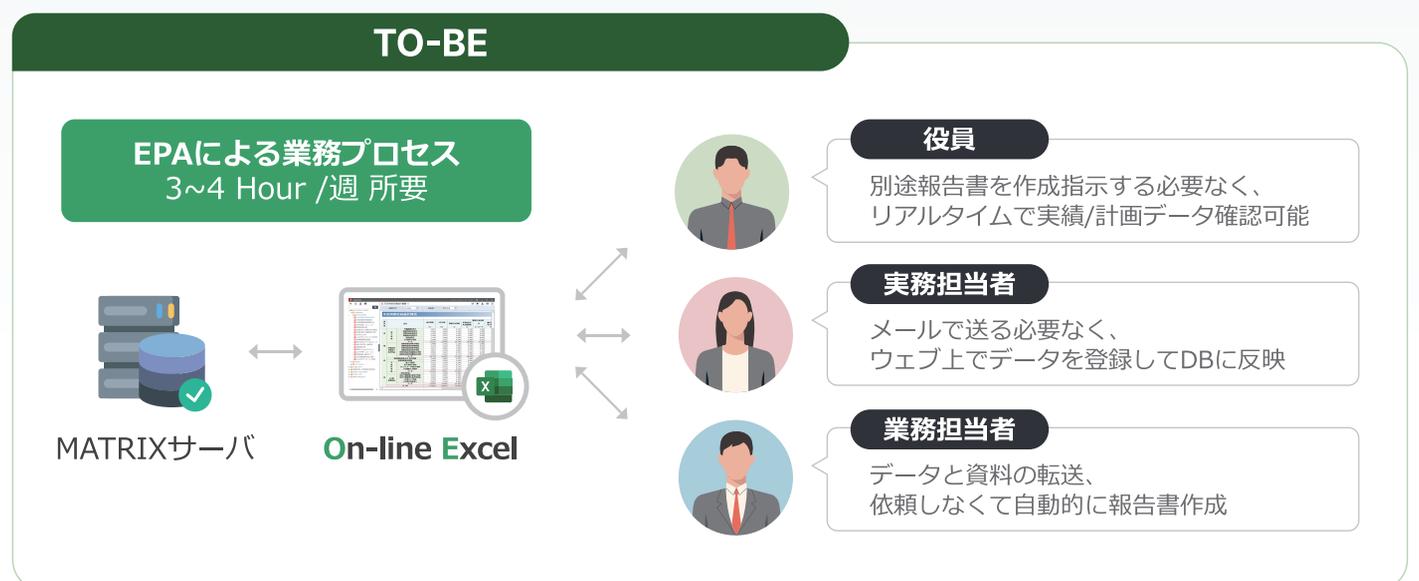
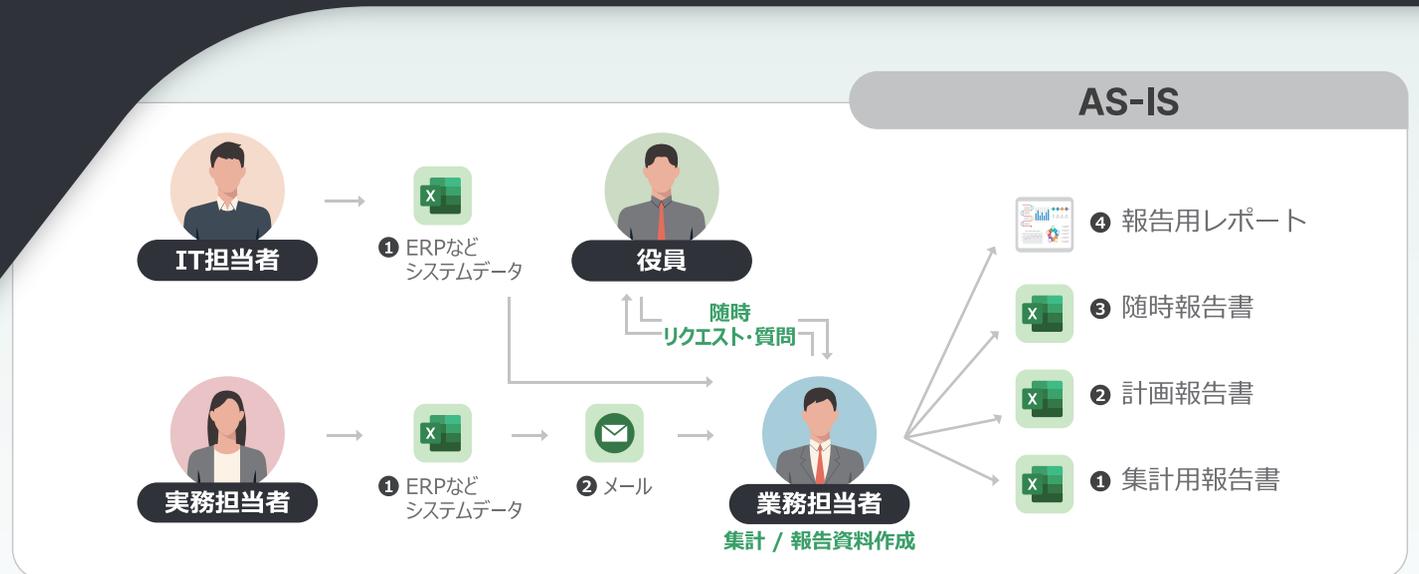


AUD Platform

EPA (Excel Process Automation) でDX実現

EPA(Excel業務自動化)とは、Microsoft Excelを使用して特定の業務プロセスやタスクを自動化することを意味します。Excelはデータ処理や分析、報告作成などの様々な業務に広く使用されており、業務の自動化は効率を向上させ、人的ミスを減らすために重要な役割を果たします。



※ 自動化 Vs システム化

区分	EPA (自動化)	システム化
目的	単純な繰返しの手作業を自動化	
開発期間	1~2ヶ月	4~6ヶ月
開発方式	現場とIT共同開発	IT主体の開発
開発ツール	AUD Platform	DB、SQL、関数、VBA中心の開発
メンテナンス	現場(IT支援)	IT

AUD Platform

EPA(Excel Process Automation)でDX実現

Excelのメリットをそのまま活用

- 表計算と集計
- データ分析
- グラフや表によるレポート作成
- 帳票作成
- 進捗管理と計画業務
- マクロ機能による定型作業の自動化

Excelのデメリットを解決

- 大容量のデータ処理
- 手作業による集計業務
- リアルタイムデータの共有
- 過去データの検索
- アクセス権限管理

◎ 既存のExcelレポートをそのまま、自動化できます。

顧客のExcelファイル(支店別損益集計表)

成長率のExcel数式

複雑なExcel書式(セル結合、枠固定など)

各支店の集計シート(メールにて送付)

EPAで開発されたレポート(支店別損益集計表)

数式をそのまま活用するため、別途の開発が必要ない

Excel書式をそのまま活用

各支店のデータがDBで管理されるため、メールで送付する必要はない

◎ Excelレポートをウェブ画面(HTML5)に自動変換できます。

EXCELのインポート→DB連携→サーバへエクスポート(EXCELのレイアウト、数式、書式などそのまま利用)

